

## 西洋古典学研究 LXVII

小川正廣：『オデュッセイア』における戦争と平和	(1)
——叙事詩の結末をめぐって——	
山川偉也：再考パルメニデス断片 1.3	(14)
堀尾耕一：アリストテレス『弁論術』における想到法の二類型	(26)
友井太郎：カトゥッルス 67 番をめぐって	(38)
——誹謗と文学の交わるところ——	
瀧本みわ：古代末期ローマ帝国の彫像に関する一考察	(50)
——文献にみる異教神像の受容と眼差し——	
シンポジウム「古代ギリシア・ローマ世界における gender equality ——理念と現実」	
西村賀子：総括	(63)
桜井万里子：古代ギリシア・ジェンダー史の可能性	(64)
和泉ちえ：プラトン『国家』第5巻のジェンダー平等思想	(67)
——「人間のフュシス」の発見——	
森谷公俊：プラトン『国家』第5巻における「男女平等」論への批判	(75)
西村賀子：プラトンの理想とアリストパネスの虚構	(82)
樋笠勝士：「哲学する女性」または「女性哲学者」について	(89)
——プラトン主義の系譜を辿る——	
後藤篤子：古代ローマ社会における女性たちの現実	(95)
北野雅弘：弁論と悲劇における女性の声の表象	(100)
書評：竹下哲文 佐野好則 浜本裕美 日向太郎 山田哲子 古山夕城 竹内一博 栗原麻子 佐藤育子 遠藤直子 藤井 崇 西村昌洋 三嶋輝夫 隠岐-須賀麻衣 大木 崇 安田 将 小島和男 金山弥平	(107)
英文要旨	(157)
古典学関係文献目録	(165)
寄贈書・交換雑誌	(183)
日本西洋古典学会第 69 回大会記その他	(185)